

この講話を受講された高校生の声 (抜粋)

業界話だけでなく、新たな気付きを与え、自らの将来を真剣に考えさせるきっかけをつくり、行動する大切さ、自身で未来を切り拓いて行くヒントを与えることができる講話です。

1. この講座を受講しようと思った動機

実際に聞いてみる人の話を聞いて、将来進学は仰ぐときに役に立たないから。私は自分の進学先やどうやって就職するか、どんな会社に就職したいかについてあまり考えずにいるから。また、自身の進学についての情報量が圧倒的で、進学について考えることを放棄しがちだが、今回の講話で話者が述べた経験やアドバイスを聞いて、自分の未来像に想像力をかき出す。

2. 特に印象に残った点

Hondaの社長さんである本田宗一郎さんの言葉が「何もしないことを恐れる」という言葉が心に残った。自分も「挑戦しなさい」といって、失敗をしてもいいから挑戦しようと思ってしまう。それは自分から行動する必要がある。失敗しても構わない。何が成功してもいい。何をしないかの方が怖い。先生の言う通り、勝てない挑戦は、もう何が成功してもいい。今の自分の持っている力で、自分自身で挑戦しなさい。これは大切なこと。今の自分も、何をしないか、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか。これを大切にしよう。今の自分も、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか。

3. 主な項目と内容 (簡潔にまとめること)

項目	内容
・ 〇〇さんの経歴、Hondaの会社紹介	・ Hondaは身だけじゃなく、色々なものを売っている。一つの仕事をやるのではなく、色々な人が関わっている。車だけでなく、色々なものがある。
・ 100年に一度の大きな変化	・ 自動運転、燃料を軽油→電気→水へ Hondaは人に制御できる喜びを与える
・ 仕事のやりがい、資格 高校生がやっておくべきこと	・ 仕事はお客さんの喜ぶから成り立っている。 「ありがとう」と言われることが、やりがいの一つである。 高専時代は、探究心と興味を大事にすることが大切。 失敗しても、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか。

4. 意見・感想 (反省点、学んだこと、今後に生かしたいことなど)

私は今日、失敗してもいいから挑戦しようと思ってしまう。それは自分から行動する必要がある。失敗しても構わない。何が成功してもいい。何をしないかの方が怖い。先生の言う通り、勝てない挑戦は、もう何が成功してもいい。今の自分の持っている力で、自分自身で挑戦しなさい。これは大切なこと。今の自分も、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか、何をしようか。

5. これから探究したいと思ったこと

「高校時代に探究心を養い、好きなことや職業について調べるのが大切。今、社会が求められているのは色々な力を伸ばして、自主心があがる人。だから、将来自分が就きたい職業や好きなこと、情熱を持っていることから逆算して、文理選択や進路先を決めることが必要。」と先生はおっしゃった。私は将来やりたい仕事が決まっているから、その分野について調べることにしよう。

1. この講座を受講しようと思った動機

自分になりたいと思った。という仕事以外の仕事も、どのようなものがあるのか、興味があるから。この話を聞いて何かのためになることがあれば、いいなと思ったから。

2. 特に印象に残った点

「これは、ホンダという企業が世界中に436社あって、ホンダで働いている人が22万人いるということだ。2つ目は、日本の100人の約12人に1人が自動車関連の仕事に就いているということだ。これは身近に自動車関連の仕事をしている人がいるとは思わなくて、とても驚きました。この分野には視野を広げよう」と思いました。

3. 主な項目と内容 (簡潔にまとめること)

項目	内容
・ 自動車業界について	・ ホンダという企業について どのようなことをしているか
・ これからの自動車について	・ 自動運転と自然に優しい燃料
・ 自動車関連の仕事に就くには	・ 今自分がすべきこと、どう頑張るか いい方法は

4. 意見・感想 (反省点、学んだこと、今後に生かしたいことなど)

どんな仕事にもやるべきがある。お客さんからの「ありがとう」という一言が仕事のやりがいにつながる。この話を聞いて、仕事はお金を稼ぐためだけにやるのではない、誰かに喜ばせるためにやるものだというのがよくわかりました。私がこれから仕事をやるようになって、くじけずに頑張るつもりで、この言葉を思い出して頑張ろうと思いました。

5. これから探究したいと思ったこと

「チャレンジして失敗を恐れず、何もしないことを恐れる。今の私には、この言葉を聞いて強く響きました。それから、何事も失敗を恐れず、積極的に取り組むべきことをしたいと思いました。自動車関連の仕事について調べてみようと思いました。」